

議会の動き(10月～12月)

10月5日 第231回熊本県市議会議長会(宇城市)
 5日 菊池養生園保健組合議会定例会
 5日 議会広報調査特別委員会
 13日 議会広報調査特別委員会
 16日 菊池地域議長会先進地視察研修
 18日 (大阪・滋賀)

20日 議会広報調査特別委員会
 24日 産業建設常任委員会所管事務視察研修
 26日 (富田林市他)
 24日 議会広報調査特別委員会
 11月8日 議会運営委員会所管事務視察研修
 9日 (伊万里市・西海市)
 13日 菊池広域連合議会定例会
 14日 総務常任委員会 継続審査陳情案件(審議)

22日 議会運営委員会(12月定例会に関して)
 12月4日 菊池環境保全組合議会臨時会
 5日 12月定例会
 22日 菊池環境保全組合定例会
 25日 菊池養生園保健組合議会定例会
 26日 菊池広域連合議会定例会
 27日 議会広報調査特別委員会

議員参加の主な行事

☆合志市誕生記念

ふれあい産業まつり

11月18日～19日
 カントリーパーク

合併記念祭がカントリーパークで開催され、2日間、多くの市民が楽しみました。

☆市長と語ろう!

まちづくり座談会

11月23日・25日・26日・27日

テーマごとに4日間、座談会が開催され、参加者79名。

☆第一回合志市

人権フェスティバル

12月9日
 メインアリーナ

互いの人格を尊重しあつて、楽しく暮らしたいと痛感しました!

☆合志市消防出初式

1月7日

西合志南中グラウンド

寒風のなか、出初式が開始されました。頼もしい消防団の動きに感激!

☆成人式

1月8日

文化会館
 653人の新成人を祝いました。

☆合志小学校落成式

1月9日

地域の避難所やコミュニケーションも兼ねた小学校です。



議会運営委員会所管事務調査報告

11月8日と9日に佐賀県伊万里市と長崎県西海市議会を研修しました。

伊万里市は、人口5万9千200人、歴史と伝統を誇る伊万里焼等の伝統産業と、先端技術とが融和した都市づくりを目指した施策が行われていました。議員の法定数30名、条例定数28名、現員数28名で各委員会は総務常任委員会7名、文教厚生常任委員会7名、産業経済常任委員会7名、建設常任委員会7名、議会運営委員会8名で他に2つの特別委員会の設置がありました。広報委員会については正式な委員会としての位置付けはなく任意の委員会として運営されてきました。なお、任期は、常任委員会と議会運営委員会は2年で特別委員会は1年でした。

式と一問一答方式の選択性でした。通告の期限は議会招集日の翌日の午後4時までで、発言順は抽選、質問時間は答弁を含め60分でした。陳情、請願の取り扱いについては、本市議会と大差は無いようでした。政務調査費は議員一人に年額25万円を、前期、後期2回に分けて支給され、報告書に領収書の添付と残金の返還が義務付けられていました。政治倫理条例は、平成7年に議員提案で資産公開を含めた条例が制定され、対象は、議員と市長となっていた。

次に西海市は、長崎市と佐世保市のほぼ中間に位置し平成17年4月1日に5町が合併した市です。人口3万3千8百人、西海国立公園など3つの自然公園があり、風光明媚な所です。

営委員会9名、広報委員会10名となっていて他に3つの特別委員会があり任期はいずれも2年でした。

議案審査は、予算・決算とも特別委員会設置の中で審査されてきました。一般質問は、総括質問方式で会期の冒頭に行われていて、通告の期限は、定例会招集日6日前の12時までとなっていて順位は通告順、質問時間は答弁を含め60分また回数にも制限があり3回までとなっていました。陳情、請願の取り扱いが資料配布のみとする決定が多かったように思われました。政務調査費及び政治倫理条例はなく現在、制定に向け協議中とのことでした。

本市議会も、政治倫理条例の制定に向け議会運営委員会と協議をかさねています。今後の議会運営に今回の研修を活かしていきたいと、考えます。

産業建設常任委員会調査報告

10月24日
PFI活用による富田林市浄化槽整備事業について

10月25日
大畑営農組合設立の経緯および活動状況について

イスセンターも設置されていた。弾力性のある、無理をしない運営。「整備したところは、営農組合で守れ！」を実践され成果を認められている。

大阪府富田林市役所にて奥田市議会議長、城下上下水道部長から説明を受けた。整備の遅れで、今後事業の完了まで相当期間を有し、生活雑排水対策も緊急な課題とされていました。予定工期の短縮、市費用の軽減等のメリットを活かしたPFI方式を取り入れ、住民サービスの努めているとのことでした。PFI事業が本市に直ちに適合するとは思えないが、他の事業で取り組めないか検討の必要はあるのではと感じた。

奈良県葛城市役所において、亀井市議会議長、寺田組合長の説明を受けて。兼業農家の増や、高齢化等の現状と、農用地・農業機械、施設等の有効利用等を促しもって農業経営安定につなげることを目的に、平成16年に設立された。活動状況は、組合員42名で大型コンバインを導入、水稲、小麦の作業が受託されていました。

大畑、大柳生営農組合とも、リーダーの存在の大きさ、組合員同志の協調と信頼により、将来の展望が描けるものと痛感した。今回の研修を参考に、これからの合志市の施策に活かしていきたいと考えます。

10月26日
大柳生営農組合設立の経緯と活動状況について

※PFI（民間の資金・ノウハウを活用して公共サービスを提供する手法）

JAならけん大柳生支所にて、田畠組合長の説明を受ける。ここでも農家の高齢化、後継者不足が契機となっていた。水田の代掻きから乾燥調整まで一括受託で、ミニラ



大柳生営農組合視察